

授業科目名		エアラインツーリズム実践研究Ⅰ・Ⅱ		担当教員名	小島 克巳	
コース名		エア・クルーズツーリズムコース				
科目区分		単位	配当 年次	実施時期	曜日・時限	形態
コース別専門科目	選択必修	Ⅰ：2単位 Ⅱ：2単位	3	Ⅰ：春学期 Ⅱ：秋学期	月・4 火・4	講義
授業概要						
<ul style="list-style-type: none"> この授業では、航空業界や航空政策に関連する研究テーマをグループや個人単位で選択し、それぞれのテーマについての調査研究と報告を行う。ただし研究テーマを決定する前段階として、航空業界や航空政策に関する基本的なテキスト（教科書）をレポーター形式で輪読し、航空業界の現状や経営戦略、航空・空港政策についての基本的知識を習得する。 授業は講義形式ではなく、原則として各グループ・個人で調査研究の報告を行ってもらい、それに対して教員がコメントを行う形態をとる。したがって、履修する学生には授業への積極的な取り組みが求められる。 						
到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> 航空業界や航空政策に関する専門的な知識を身につける。 設定した研究テーマについて調査研究や分析する能力を養う。 討論や発表の機会を通して人前でのプレゼンテーション能力を向上させる。 						
授業方法(展開)						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">航空業界や航空政策に関する基本的なテキストの輪読</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">研究テーマの決定・研究計画の作成</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">それぞれの研究計画に沿った調査研究や分析の実施・結果報告</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">タームペーパーの作成・提出（学年末）</div>						
※ 航空業界や研究内容の理解を深めるために、適宜、航空関係者のゲスト講師招聘や施設見学などを実施する予定。						
関連科目・知識・スキル						
<ul style="list-style-type: none"> 航空業界への関心があることが望ましい。 このクラスの履修者には「航空ビジネス論」、「空港業務論」、「現代航空事情」、「地域振興と航空政策」の履修を強く推奨する。 4年次開講の「エアラインツーリズム総合研究Ⅰ・Ⅱ」への足がかりとなる科目である。 						
成績評価						
<ul style="list-style-type: none"> 授業態度、輪読レポーター、研究報告の内容、夏休み課題レポート、タームペーパーなどを総合的に判断して評価する。 						
教科書・参考書など						
<ul style="list-style-type: none"> 井上泰日子（2008）『航空事業論』日本評論社 ANA 総合研究所編（2008）『航空産業入門』東洋経済新報社 国土交通省航空局（2009）『数字でみる航空2009』航空振興財団 スティーヴン・ショー（2009）『航空の経営とマーケティング』成山堂書店 など 						
履修上の注意事項						
<ul style="list-style-type: none"> 学生の適性とやる気を判断するため、希望人数にかかわらず履修希望者全員との面談を実施する。 施設見学などの課外活動において、交通費等で学生の自己負担が発生する可能性がある。 						

授業の柱(単元)と授業スケジュール

【春学期 15回】

第1回：オリエンテーション

- ・ 授業の進め方の説明と自己紹介

第2回～第10回：テキスト輪読

- ・ 各章の報告者と討論者を決めて学生が発表を行う。教員はそれに対する補足説明を行う。
- ・ 輪読するテキストは、複数の候補の中から履修者と相談の上決定する。

第11回：研究テーマの決定、研究計画の作成

- ・ テキストの輪読から得た知識をもとにグループや個人で研究テーマを決定し、年間の研究計画を作成する。

第12回～第13回：研究計画の発表

- ・ グループや個人でそれぞれの研究計画を発表する。

第14回～第15回：調査研究の実施

- ・ グループや個人でそれぞれの研究テーマに関する調査研究を行う。

【秋学期 15回】

第1回～第3回：夏休み課題レポートの報告

- ・ 夏休みの課題レポートの報告を行う。

第4回～第13回：調査研究の実施および中間報告

- ・ グループや個人でそれぞれの研究テーマに関する調査研究を行い、適宜その結果を報告する。
- ・ この間に2回程度の中間報告会を設ける。

第14回～第15回：研究報告会（クラス内）

- ・ 1年間のまとめとして、グループあるいは個人でそれぞれの研究テーマに関する最終報告を行う。

※ 春学期・秋学期とも、航空業界や研究内容の理解を深めるため、適宜、航空関係者のゲスト講師招聘や施設見学などを実施する予定。

学生への一言

- ・ 現在の航空業界や航空政策に研究対象として関心のある学生を求める。
- ・ 航空業界への就職を意識した授業ではないことに留意すること。この授業を通して航空業界に対する理解を深めることはできるが、ここで得た知識を生かすも殺すもあなた次第。